

経済倶楽部便り

◆東京◆ 1月には「石橋湛山賞」を受賞された2人の方にご講演いただきました。お一人は上智大学法学部教授の三浦まり氏。もうお一人は東京大学社会科学研究所教授のケネス・盛・マツケルウエイン氏。三浦まり氏は男性中心の政治決定の在り方を批判的に検証されました。その際に映し出された写真は象徴的でした。第二次岸田改造内閣では5人の女性大臣が生まれて話題になりました。が、その後の副大臣など54人の人事では全員が男性で、ズラリと並んだ写真が映されました。同氏は講演はいろんなどころで行っているが、本日のような男性中心の

集まりで話すのは珍しいと苦笑されており、当倶楽部も課題を頂いた格好です。

3月の講師はニッセイ基礎研主任研究員の窪谷浩氏、東洋経済新報社記者の石坂友貴氏、東海大学客員教授の長尾年恭氏、みずほ銀行チーフマーケット・エコノミストの唐鎌大輔氏、政策研空大学院大学教授の飯尾潤氏の予定です。

◆中部◆ 1月の講師の一人に白鷗大学経営学部教授の嶋中雄二氏をお呼びしました。景気循環を示す短期、中期、長期、超長期の4つのサイクルを詳しく検証。「いずれも2025年に向かつて上昇が続いている」と指摘されました。3月の講師は東短リサーチ社長の加藤出氏、TBSスペシャルコメンテーターの星浩氏を予定しています。

(日暮良一)